

2026年 第36回



夏季セミナー

子どもにかかわるすべての人に



オンラインセミナー

配信期間 8月1日(土)～9月30日(水)

会場開催

8月8日(土) 川崎市高津市民館

オンラインセミナー

配信期間 8月1日(土)～9月30日(水)
受講料 個人11,000円 園/施設77,000円
※申込受付は9月24日(木)23時まで

第1部「少子化の時代を迎えて、どう変わっていくのか？」



汐見稔幸さん

(一般社団法人 家族・保育デザイン研究所代表)

少子化問題を肌で感じるこの頃です。保育料の無償、幼児の時からGPSをつけるなど、子どもが貴重品になりつつあります。私たちは忙しく仕事に励み、子育てをプロに任せることで安心を得ようとしている気配も感じます。子どもたちは、幼い時からたくさんのおとなに囲まれ、園という群れの中で育っていきます。少子化が社会に、そして、子どもの育ちにどんな影響を及ぼすのかご意見を伺いたいです。

第2部「泰子と愛子のおしゃべり対談」



木村泰子さん

(大阪市立大空小学校初代校長)

教育は「教える」から、「子どもが主体的に学ぶ」に移行されつつあります。「主体的・対話的な深い学びの実現」(アクティブ・ラーニング)を文部科学省からも指導されています。保育界は自由保育というかたち？学校では今までのような教科書中心の授業が変わっていくのでしょうか？もしかしたら、木村さんはすでにおやりになっている？現場の子どもを軸に考えている二人の本音トークです。

第3部「子どもがエビカニクスに惹かれるわけ」



ケロボンズ

(ミュージック・ユニット)

子どもたちの日常にエビカニの曲が流れて、身体を動かしています。作者がいることも知らなくらいに身近な存在。エビカニが作られて20年以上になります。この歌や体操が生まれた秘話に迫ります。たくさんの曲を次々と出しているお二人は、子どもにどんな思い入れがあるのでしょうか。全国で出会う子どもたちのエピソードも含めて、語っていただきます。保育・教育現場の方に、ケロボンズのエッセンスがきっと参考になります。

第4部「りんごの木・保育のおもしろエピソード」



柴田愛子

りんごの木スタッフ

2,3歳児の小さい組での保育の中で起きる子どもたちの姿。
4,5歳児の大きい組での子どもの姿と主体的な保育の展開。
もっと小さい親子クラス、小学生の元気クラブもあります。
それぞれのエピソードから子どもの育ちの楽しさを感じていただけたら、そして、保育者の在り方の参考にしていただけたらうれしいです。

会場開催

8月8日(土) 川崎市高津市民館
受講料 個人9,900円(一日通し券)
会場+オンラインのセット料金 15,400円

第1部 「保育のドラマを見逃すな！ 愛子さんの視点をさぐる」



柴田愛子

聞き手 木村里恵子さん 10:00～11:30

保育で起きている出来事。心の中にしまったままにいませんか？愛子さんは子どものドラマを話すのが大好きです。その話に笑ったり、涙したり、勇気づけられたり、元気になったりします。今回フリーランス編集者の木村里恵子さんをお迎えして、おしゃべり愛子さんの子ども観、保育観、もろもろの中身を探っていただきたいと思います。みんなが自分のやり方で子どもを語れるようになったら保育がもっとおもしろくなるはず。

第2部 「みんな自分の歌を歌っている」

13:00～15:00



新沢としひこさん
(シンガー・ソングライター)

それぞれの人生を生きているということは、それぞれが自分の歌を歌っているようなものだな、と思います。けして、他の誰のものでもない人生を、みんな生きているのです。良いことも、悪いことも、いろいろなことがあったよな、と思う日々です。新しいCD「人生は歌っている」を今年作りました。63歳になり、もう「人生」とか言う言葉を歌詞に使っても良いかなと思うようになりました。みなさんの「人生の歌」に、何か響きあったり、重なったりしたら、良いなと思っています。

分科会 15:30～16:30

- ① 話したい人 聞きたい人、あつまれ～！
- ② 大ホールで歌っちゃおう！
- ③ 新聞紙立体～トラスでみんなと繋がろう
- ④ カッター ツカッター 5歳からのツボ押し作り
- ⑤ おしゃべりな写真で おしゃべりしましょ



第3部「大豆生田がいま、もっとも話したいこと」

私はなぜ子どものことをお仕事にしているのか？みなさんは？
17:30～19:30



大豆生田啓友さん
(玉川大学教育学部教授)

みなさんは、なぜ、保育や教育、子どもにかかわる仕事をしたり、子どものことに関心を持っているのでしょうか？私はそのことをずっと考え続けてきました。ある時、その原点は私の子ども時代からの生い立ちにあることに気づきました。現場の保育者を経て、親を経験し、養成校の教員・研究者としてずっと考えてきました。いま、温暖化が深刻化し、世界の紛争が起こる中で、だんだん見えてきたことがあります。そんなことをおしゃべりしてみたいと思います。

りんごの木

子どもに関わるトータルな仕事をする場として1982年に創立しました。創立以来「子どもの心に寄り添う」を基本姿勢に保育だけではなく、様々な活動を展開しています。保育者向けのセミナーや保護者向けの講演会、書籍出版、子どもとおとなの教室などを通し、子どももおとなも育ちあい、つながりあえる場所を目指しています。

お問い合わせ＆お申込み

りんごの木 045-941-0683 (平日14:00～17:00)

